富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和6年1月号
No.259

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 | TEL 076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/

新春の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
今月の掲載は、歯科口腔外科、泌尿器科、
緩和ケアチーム、がん相談支援センターです。

YouTubeで当院の「今」をお伝えしています。是非ご覧ください。

新年室長挨拶

地域連携室長
丸山（まるやま）　美知郎（みちろう）

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当院の地域医療連携にご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

年明けの能登半島地震では、被災地への救援・診療、患者受け入れなどにご苦労されました医療機関、先生方も多くいらっしゃったことと思います。皆さまの安全と一日も早い復興を祈念いたします。

今年の干支は甲辰（きのえたつ）、甲は物事に対して耐え忍ぶ状態を表し、生命や物事の始まり、成長も意味します。辰は自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表します。2024年も希望と活気に満ちた成長の1年にしたいものです。

令和4年度地域連携室の取組みをご紹介させていただきます。病院全体初診紹介患者数17,477人のうち地域初診予約数15,243件、高額装置（CT・MRI・RI）などの共同利用検査予約数2,147件、紹介率85%、逆紹介率91.7%でした。いずれもコロナ禍前より増加しており、皆さまのご支援、ご協力に感謝申し上げます。現在、CTは当日受診枠を増やして、初診患者さまの利便性が高まるようにしております。

地域連携室では、竜吟虎嘯（りゅうぎんこしょう）の心で、地域医療機関の皆さまと本院との連携に貢献できるようにスタッフ一丸となって取り組んでまいる所存です。本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

診療科の紹介　歯科口腔外科

歯科口腔外科スタッフ
後列左より　金森歯科技工士、新村歯科衛生士、西本歯科衛生士、加藤歯科衛生士、坂上歯科衛生士
前列左より　清水歯科医師、倉部医長、小島部長、浅見歯科医師、小林初期研修医

外来受診表

	月	火	水	木	金
初診	担当医	浅見	担当医	清水	担当医
再診	小島		小島		小島
	倉部		倉部		倉部
	浅見		浅見	清水	浅見
	清水	浅見	清水		清水
手術		○		○	

◆診療体制

現在のスタッフは、小島拓部長、倉部華奈医長、浅見栄里歯科医師、清水まや歯科医師、歯科衛生士4名、歯科技工士1名の計9名です。

当院は新潟大学歯学部の協力型歯科医師卒後臨床研修施設であり、前後期で1名ずつ研修医を受け入れています。

外来診療および手術は上表の通りで、月曜から金曜の午前は外来診療、午後は外来小手術、火曜・木曜は中央手術室での手術を行っています。また、入院患者を中心に周術期口腔ケアを行っています。

当科は日本口腔外科学会研修施設として認定されており、口腔外科認定医、専門医の育成を行っています。また本年度には日本顎変形症学会研修施設として認定されました。

◆診療内容

歯科口腔外科では、口腔顎顔面領域に関わる疾患（埋伏歯、炎症、外傷、嚢胞、腫瘍、顎関節疾患、唾液腺疾患、顎変形症など）を取り扱っています。中央手術室では年間300件程度の手術を行っており、そのほとんどは全身麻酔下です。智歯抜歯術、顎骨嚢胞摘出術などの一般的な口腔外科手術をはじめ、顎骨骨折の観血的整復術や蜂窩織炎の消炎術など救急患者に対する手術、顎矯正手術といった専門性の高い手術も行っています。

顎変形症患者に対する顎矯正手術は当科の専門分野の一つです。Le Fort Ⅰ型骨切り術、下顎枝矢状分割法、歯槽部骨切り術、オトガイ形成術などの手術を多数行っており、今年度は58件の手術（プレート除去術を除く）を予定しています。

周術期口腔機能管理を中心とした医科歯科連携にも力を入れています。がん等に関わる手術、放射線治療、化学療法などを受ける患者さんの口腔内トラブル（口内炎、口腔乾燥、口腔内出血など）に対し、治療や口腔ケアを行っております。

◆話題提供

【下顎骨骨折】

下顎骨は転倒、転落、殴打などの際に受傷しやすい部位です。下顎骨の形態がU字型という特徴から、直達骨折よりも介達骨折が生じる頻度が高いとされています。下顎骨には咀嚼筋が多く付着しており、骨折片は付着する筋により偏位します。そのため、歯列を含まない骨折部位（下顎角部、筋突起、関節突起）の骨折であっても咬合不全を併発する場合がほとんどです。従って、治療のゴールは骨折部位の整復と咬合関係の回復になります。

今回は下顎骨関節突起骨折、下顎骨体部骨折を併発した症例に対し、硬性内視鏡を用いて観血的整復固定術を施行しましたのでご紹介いたします。

【症例紹介】

症例は50歳代の男性です。入浴中に意識消失して転倒し、他院に救急搬送されました。オトガイ部皮膚の裂創に対して縫合処置を受け帰宅しましたが、下顎部の疼痛と咬合の違和感が持続していたため近医整形外科を受診したところ、下顎骨骨折を指摘され、当科紹介となりました。

パノラマX線写真、CTでは右側下顎骨体部、右側下顎関節突起部に骨折を認めました（図1、2）。下顎関節突起部骨折の場合、口腔外からアプローチ（下顎枝後方切開、耳前部切開）することが多いのですが、これは口腔内アプローチだと術野がかなり狭く、手術が困難なためです。しかし、口腔外アプローチの場合、顔面神経麻痺が懸念され、皮膚切開が必要なため審美性に劣ります。そのため、今回我々は硬性内視鏡を用いることで術野を確保し、口腔内からアプローチする方針としました。

初めにハイブリッドMMF（金属プレートにフックが付いた物）を顎骨に装着しました（図3上段）。上下の歯をワイヤーで固定して元の咬み合わせを再現します。切開線は下顎枝前縁から口腔前庭部に向かう直線としました（図3）。切開、剥離を行い、骨折部を明示し、下顎骨体部骨折部を整復してチタンプレートとスクリューで固定しました。

次いで下顎骨関節突起骨折の整復を行いました。図3右下では下顎枝前縁が露出していますが、このさらに上方にある関節突起骨折部を目視することは出来ません。そのため硬性内視鏡を用いて骨折線を確認しながら、コントラドライバーを用いてチタンプレートとスクリューで整復固定を行いました（図4、5）。術後はほぼ予定位置で骨片固定されていることを確認しました（図6、7）。

術後は2週間程度の顎間ゴム牽引を行いました。一時的に開口障害を生じましたが、開口訓練を行い、正常まで開口出来るようになりました。また咬合は安定し、特に問題なく食事を取ることが出来ています。

【まとめ】

新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、近年では顎顔面外傷、歯の外傷で当科を受診される方が減少している印象です。皆さんが怪我をされず過ごされていることはとても喜ばしいことです。

当科では、本症例のように、できるだけ低侵襲かつ最良の結果が得られるよう努力しております。何かございましたら、ご紹介いただけますと幸いです。

◆最後に

日頃より多くの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。

現在、歯科口腔外科外来は大変混み合っており、初診の待ち時間が長時間におよぶことがあります。そのため、地域連携室を通した初診予約をお願いしております。また、あらかじめ紹介状をファックスしていただけますと、事前に準備が出来ますし、患者さんの待ち時間短縮にもなります。

緊急性のない方が初診予約なく当日受診された場合、混雑状態によっては診察が難しい場合もあり、その際には後日の予約を取ってお帰りいただくことがあります。ご了承ください。患者さんの待ち時間短縮、外来診療の混雑緩和のため、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、病診連携を推進するために病診連携症例検討会を定期的に開催しています。ご都合がつきましたら是非ご参加ください。　（文責　倉部華奈）

図1　初診時パノラマX線写真

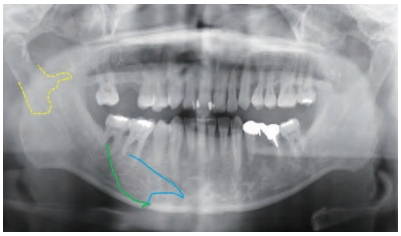

図4　内視鏡写真

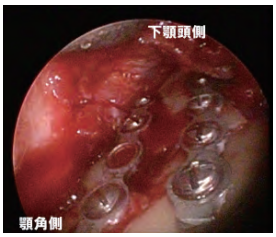

図5　コントラドライバー

図2　初診時CT　骨3D

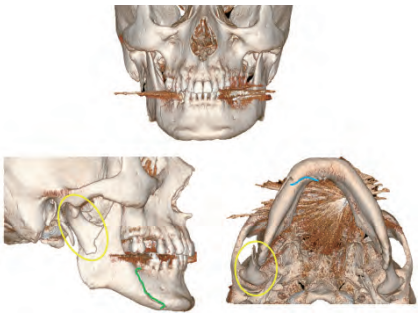

図3　術中写真

図6　術後パノラマX線写真

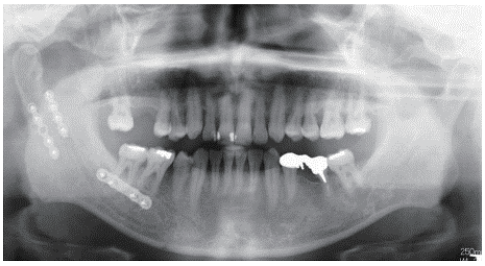

図7　術後CT　骨3D

泌尿器科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

がんに対する外科的手術において、当科は腹腔鏡手術やロボット支援下腹腔鏡手術、小切開手術のいずれも行っておりますが、ここ数年で急速にロボット支援下の前立腺全摘、腎部分切除、膀胱全摘の件数が増加してきました。

またがんに対する優れた薬物治療（分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤、新規ホルモン薬）を積極的に行うことで飛躍的に無増悪期間や生存率が伸びています。前立腺癌に対する外照射治療も優れた効果を示しています。

良性疾患にも積極的に対応しており、尿路結石や前立腺肥大症に対し細径内視鏡やホルミウムレーザーを駆使し、優れた成績を得ています。

末期腎不全に対する腎移植手術の歴史は北陸三県で最も古く、2022年度末までに通算160例の腎移植を行いました。他科との密なチーム医療により全国水準の成績を上げています。

医師一人ひとりが切磋し、泌尿器科全体で情報を共有し、患者さんが等しく恩恵を受けることが出来るような体制づくりを行っています。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長
瀬戸（せと）　親（ちかし）

【（患者さんに向けた）一言】
・自分を含め、泌尿器科全員のレベルアップを目指します.
【自身の専門性（手技他）アピール】
・がん治療（手術、薬物）、レーザー治療、腎移植
【専門医資格】
日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡学会評議員、日本ミニマム創手術練達医、臨床腎移植学会腎移植認定医、金沢大学臨床教授、DaVinci Certificate

部長
島（しま）　崇（たかし）

【（患者さんに向けた）一言】
・泌尿器科がん治療に全力を尽くします。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・がん治療（手術、薬物）、ロボット・腹腔鏡手術
【専門医資格】
日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術制度認定医、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器ロボット支援手術プロクター認定制度認定プロクター、DaVinci Certificate

医長
武澤（たけざわ）　雄太（ゆうた）

【（患者さんに向けた）一言】
・親切丁寧な診療を心がけます。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・がん治療（手術、薬物）、腎移植、ロボット・腹腔鏡手術
【専門医資格】
日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術制度認定医、臨床腎移植学会腎移植認定医、DaVinci Certificate

医師
吉田（よしだ）　司（つかさ）

【（患者さんに向けた）一言】
・一人一人に寄り添った診療を心がけています。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・泌尿器科一般

医師
酒徳（さかとく）　直明（なおあき）

【（患者さんに向けた）一言】
・地域の医療に貢献できるよう尽力します。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・泌尿器科一般

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
1診	島	瀬戸	瀬戸	瀬戸	島
2診	武澤	島	酒徳	酒徳	武澤
3診	吉田	武澤			吉田

緩和ケアチームのご紹介

緩和ケアチームは、痛みなどの身体的苦痛や不安などの精神的苦痛を和らげ、患者･家族が“その人らしく”生活できるよう支援するチームです。疼痛やその他の身体症状の緩和に難渋するケースや、抗がん治療や症状進行などに対する不安、気持ちのつらさがあり精神的サポートが必要な場合などに依頼を受け介入しています。

緩和ケアの対象は「がん」だけではなく、心不全や筋萎縮性硬化症による呼吸困難、閉塞性動脈硬化症による痛みなどの症状緩和も行っています。入院・外来合わせて、年間約300件の依頼があります。

構成メンバーは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、臨床心理士、ソーシャルワーカーです。週に1回カンファレンスを行い、チーム介入中の患者さんの症状緩和やケアについて検討しています。

緩和ケアチームでは、チーム介入患者さんの退院支援も行っています。退院後には訪問診療や訪問看護からの疼痛コントロールにおける薬剤調整の相談などにも対応しています。他院から依頼で外来通院しながら症状緩和を図っている方もおられますので、いつでもご相談ください。地域での緩和ケアの充実も図れるよう取り組んでいきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

がん相談支援センターのご紹介

がん相談支援センター“こもれび”は、中央診療棟1階緩和ケアセンターに併設しており、サロンのような暖かな雰囲気を大切にしています。がん専門相談員が、患者さんやご家族のお話を伺い、がんに関わる様々な困りごとの解決や不安の緩和に向けた支援を行っています。

令和4年度の相談件数は1,678件で、相談は、がん告知後の不安やがんによる症状、治療費について、治療と仕事の両立など様々です。相談内容によっては、社会制度に詳しいソーシャルワーカーが対応し、安心して療養生活を送れるよう支援しています。がん治療に伴う脱毛や肌や爪などの外見の変化への辛さの相談も多く､「アピアランス（外見）ケア相談会」にて、ウィッグの選び方や肌のスキンケア方法など、具体的なケア方法も提案しながら相談に応じています。また、セカンドオピニオン、臨床試験や先進医療、がんゲノム医療についての相談もあり、信頼できる確かな情報提供に努めています。

国立がん研究センター「がん情報サービス」が発行している「がんの冊子」を閲覧・入手することもでき、当院へ通っていない方でも、どなたでも無料・匿名で相談することができます。

がん患者さんやそのご家族が、がんの診断や治療の過程で一人で不安を抱えることのないよう、がん相談支援センターを、ぜひご紹介いただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

【ご利用概要】

相談受付時間	月曜日～金曜日（祝祭日除く） 9:00 ～ 16:00
相談方法	・面談 ・電話：076-424-1531（代） ※電話の際は”がん相談について”と申し出てください。
相談担当	がん専門相談員（看護師）、認定看護師 ※相談内容により他職種と連携しながら相談に応じます。

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

2月開催予定

★第176回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和6年2月1日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和6年2月8日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和6年2月19日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★富山県立中央病院がんセンター部キャンサーボード
日 時：令和6年2月26日（月）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和6年2月6、13、20、27日（火）
16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

3月開催予定

★第81回 富山県立中央病院歯科口腔外科病診連携症例検討会
日 時：令和6年3月6日（水）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央診療棟3階　35会議室

★第177回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和6年3月7日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和6年3月11日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和6年3月14日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★第125回 漢方症例検討会
日 時：令和6年3月15日（金）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和6年3月28日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和6年3月5、12、19、26日（火）
16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

2 2月の外来診療に関する医師不在日

科　名	医師名	不在日
消化器内科	松田(耕)医師	2日(金)、16日(金)、28日(水) 29日(木)
リウマチ・和漢診療科	津田医師	2日(金)
呼吸器外科	新納医師	19日(月)
小　児　科	宮下医師	1日(木)
整形外科	上野医師	13日(火)
産婦人科	谷村医師	19日(月)～22日(木)
	草開(妙)医師	22日(木)
泌尿器科	瀬戸(親)医師	15日(木)
	武澤医師	16日(金)
放射線治療科	豊嶋医師	5日(月)～9日(金)
歯科口腔外科	小島医師	26日(月)

3 受診にあたってのお願い

日頃より、地域連携室業務に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

時折、予約なく診療情報提供書をお持ちになって来院され、当日の受付枠がいっぱいで、後日の予約を取ってお帰りいただく場合があります。

ご面倒でも、受診前に地域連携室にお電話いただき予約をお願いします。その際には診療情報提供書を事前にFAXいただきますと診療までの待ち時間の短縮にもつながりますので、ご理解とご協力を賜りたく存じます。何卒よろしくお願いいたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

行く年を振り返ると、流れる時間の早さに驚いております。

さて、今年はどんな1年になるでしょうか。私事ですが、今年は「健康」を意識した1年にしたいと思っております。エレベーターではなく階段を使う、近所のスーパーまで歩いて行くといった身近なことから始めていけるよう、頑張りたいと思います。

みなさまの1年が豊かで健やかになりますようにお祈りいたします。本年もよろしくお願いいたします。

地域連携室社会福祉士　松原美鈴

令和六年のはじまり
撮影：地域連携室看護師 吉田 弘子

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室
○代表電話　076（424）1531／内線3177
○予約専用　076（491）7160
○FAX　076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
ホームページアドレス　https://www.tch.pref.toyama.jp/

地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
メールアドレス　chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp

医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
メールアドレス　kango@pref.toyama.lg.jp